

佐倉市障害者作品展「ふれあいギャラリー」同時開催

「VR 体験で理解する発達障害」アンケート集計結果

(アンケート回答数 67名)

【VR 体験アンケート】

設問1 VR 体験を通して発達障害への理解が深まりましたか？ (無回答 1名)

- ア とても深まった⇒37名 イ 深まった⇒28名
ウ それほど深まらなかった⇒1名 エ 深まらなかった

〈回答の理由 (抜粋)〉

【ア とても深まった】

- ❖ 実際、自分が体験してみることによって、見え方が違うことを感じました。
- ❖ 自分が当たり前と感じていることが全ての人にとっての当たり前ではないのだと感じました。(聞こえ方、光の感じ方など)
- ❖ 実際に自分のことであるように体験することができた。

【イ 深まった】

- ❖ 言葉で知っていても、本人の気持ち、見え方は分かりにくいので勉強になり理解が深まった。

【ウ それほど深まらなかった】

- ❖ 理解がちょっとできなかった所がありました。残念ながら。

設問2 VR 体験を誰かに勧めたいと思いますか？ (無回答 2名)

- ア とても勧めたい⇒35名 イ 勧めたい⇒28名
ウ それほど勧めたいとは思わない⇒1名 エ 勧めたいとは思わない⇒1名

〈回答の理由 (抜粋)〉

【ア とても勧めたい】

- ❖ 自分と全く異なる感覚の発達障害は体験しないと理解するのが難しいと思うから。
- ❖ 自分の感覚を共有できると思ったから。

【イ 勧めたい】

- ❖ 追体験することにより、どのような配慮ができるのか相談が実のあるものになると思う。
- ❖ 感覚過敏はとてもわかりやすいと思う。ADHDの焦燥感は少し伝わりにくいかも。
- ❖ 話すより体験した方が何倍もすぐ理解できる。

【ウ それほど勧めたいとは思わない】

- ❖ 他の人が自分が思うほど興味を持っているとは思えないので。

【エ 勧めたいとは思わない】

- ❖ 理解したいと思ったらでいいと思うので。

設問3 VR体験の感想や、今回の体験を通して考えられた発達障害のかたへの配慮のアイデア、今後佐倉市に期待する障害への理解促進を図る取り組みなどについてご意見がありましたら教えてください。

〈回答から（抜粋）〉

❖発達障害の人が生活しやすくなるヒント等を情報発信していただけたら、当事者も周りの人も助かるのではないかと思います。障害の程度によっては支援につながりにくく、実際に困っている人はもったたくさんいるのではないかと思います。

❖本人も発達障害を早く気付けるように、また周りもこんな障害があり困りごとがあるのだと知ることがとても重要だと思う。知らないと悲しい状況になってしまうと思う。

❖実際のところ、疑似体験なのでいい加減なことは言えません。ただすごく気分が悪い、落ち着かない、不安なという表現に近い感覚が強く残りましたので生きづらい、生活しづらいただろうなと思います。

❖多くの方がVR体験することで発達障害の方の気持ちでも少しでも理解が進み、誰もが住みよいあたたかい地域につながると思うので多くの方が体験していただきたい。貴重な体験ありがとうございました。

❖息子たちがASDのため、少しでも子どもたちが見ている世界を感じられたらと思いVR体験をさせていただきました。こういった機会をくださってありがとうございます。企業など普段障害のある方と関わる機会が少ない場所で開催したら、一緒に働く障害のあるかたも少しは働きやすくなると思いました。学校の福祉学習でも取り入れてほしいです。

❖障害のある人もなるべくオープンにし、周りもそれを受け止めることが必要。周りの配慮でだいぶ不自由は軽減できると思うので。

❖自分自身の問題かもしれませんが、体験で共感出来たらと思い、今回来たのですが私には難しかったみたいです。

❖ADHDということの理解が広まると共生できると思いました。パターンなど色々なケース・事例が知れるといいなと思いました。

❖時間もちょうどよく、発達障害の方がどのように感じているかを知られたことは大変貴重な体験だと思います。今後もこのような体験型の学びができることを多くの方に知って体験した人が増えることにより、お互いの理解を増やすことが大切だと思います。

❖娘に聴覚過敏があるので娘の感じる世界を体験したくて参加しました。大変な思いをして生活しているんだなと知ることができました。学校の先生や周りの方に娘のことを説明する時に難しさを感じる場合があります。学校の道德の授業などで体験させて頂けたらいいなと思いました。(子どもたちが各自配られているパソコンなどでも自由に見ることができるといいですね。)先日、中学校の授業で人権集会という活動がありました。こういった貴重な授業が増えるといいなと思いました。

❖息子は自閉症スペクトラムです。光を人よりもまぶしく感じたり、痛みを大げさに訴えたりすることがあります。人混みや外出も苦手です。また、VR体験にもでてきたようなこと、体験者と似たようなことを訴えることがあります。小学校に登校することが難しくなり、今はほとんどオンライン授業で受けています。(受け身で積極的に参加しているわけではない)人との関わりが嫌いなわけではないけれど、距離感をとるのが苦手だったり、キツイ言葉や否定的な言動に人一倍傷つくようです。人に認められること、人と同じであることに安心を覚えます。私といることで安心するようですが、これから大人になって自立していかななくてはいけないので不安があります。家庭以外にも地域や学校にも息子の居場所が増えていったらよいと思います。学校や地域でも今日のVR体験の機会が増えて、社会全体みんなの理解が深まればよいと思いました。私は子供に付き添うために退職したので障害のある方もその家族も孤立しない社会にしていきたいです。

❖学校の先生方への体験及び勉強会をお願いしたい。支援学級以外の先生の理解が全然ないので色々伝わりにくい。合理的配慮を「それいらんだろ」と言われたりするのです。

❖実際には体験以上の混乱がご本人はあると思います。今回のように体験を通してご本人の困難さを想像することが障害理解への第一歩になると思うのでたくさんの人に体験してもらいたいです。また機会を作ってください。

❖部下に発達障害の社員がおり、とても参考になりました。就業環境の検討に役立てたいと思います。

❖今回初めてこのような体験をさせていただき未知の世界を学ぶことができました。このような場を設けていただきとてもありがたく感謝申し上げます。もっとこのような機会を様々な公的イベントなどの場所(場面)で開催していただけるといいなと思いました。